

2019年12月期 第2四半期決算説明会



コスモ・バイオ株式会社

(証券コード：3386)

2019.8.6

www.cosmobio.co.jp



ご説明の流れ

1. 会社概要と事業の内容 p.3
2. 2019年当社を取り巻く事業環境 p.7
3. 2019年上期の取り組み成果 p.12
4. 3ヶ年計画の進捗および今後の課題 p.16
5. 決算の概要および業績予想について p.22

1. 会社概要と事業の内容

www.cosmobio.co.jp

会社概要

社名:	コスモ・バイオ株式会社
本社所在地:	東京都江東区東陽二丁目2番20号
代表者:	代表取締役社長 櫻井 治久
設立:	1983年8月25日
資本金:	918百万円
事業内容:	ライフサイエンスに関する研究用試薬、機器、 臨床検査薬の仕入(一部自社製造)及び国内・海外販売
従業員数:	連結:130名 個別:100名(2019年6月30日時点)
連結子会社:	ビーエム機器株式会社 COSMO BIO USA, INC.
非連結子会社:	株式会社プロテインテック・ジャパン



事業の内容 - 商流 -

研究者と仕入先を結ぶ
コスモ・バイオ



事業の内容 – 商社機能・メーカー機能 –

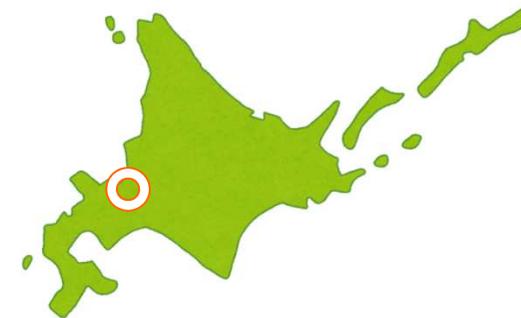
商社機能

世界中の約**600社**の仕入先



世界各地にある最先端の商品を導入し、「分かりやすさ」「安心・安全」を付加価値として研究者の皆様へ提供

メーカー機能



札幌事業部にて
自社品の開発・製造
自社受託サービスの提供

商品提供で充足できないニーズに対し、自ら作る、サービスを提供することでソリューションを提供

研究者に最新の商品とサービスでソリューションを提供

2. 2019年当社を取り巻く事業環境

www.cosmobio.co.jp

2019年事業環境について

当社を取巻く環境

大学・公的研究機関
研究費動向

企業研究費動向

コスモ・バイオ株式会社

競合会社

為替相場

2019年事業環境について

大学・公的研究機関研究費動向

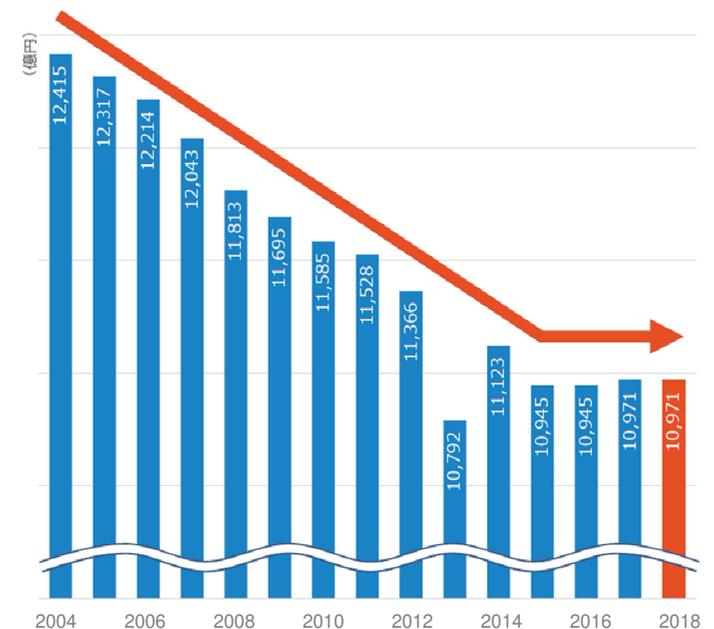
政府予算はほぼ横ばい傾向が続いている。競争的資金のひとつである科研費については、2019年度予算は、対前年度86億円増額の2,371億円（2018年度予算は対前年度2億円増）で、増額予算となっている。

各大学・公的研究機関の予算執行の鈍化傾向は継続。

科学研究費補助金の予算額の推移



国立大学法人運営交付金予算額の推移



(注) 2017年度予算額には、国立大学法人機能強化促進費（45億円）を含む
(注) 2018年度予算額には、国立大学法人機能強化促進費（89億円）を含む

文部科学省HPより一部改変

2019年事業環境について

企業研究費動向

医薬品企業関連においては、基礎研究の拠点の統合等の影響があるものの、受託サービス等の需要が増加し、結果として基礎研究分野の資金投資は微増から横ばい傾向が継続。

競合会社

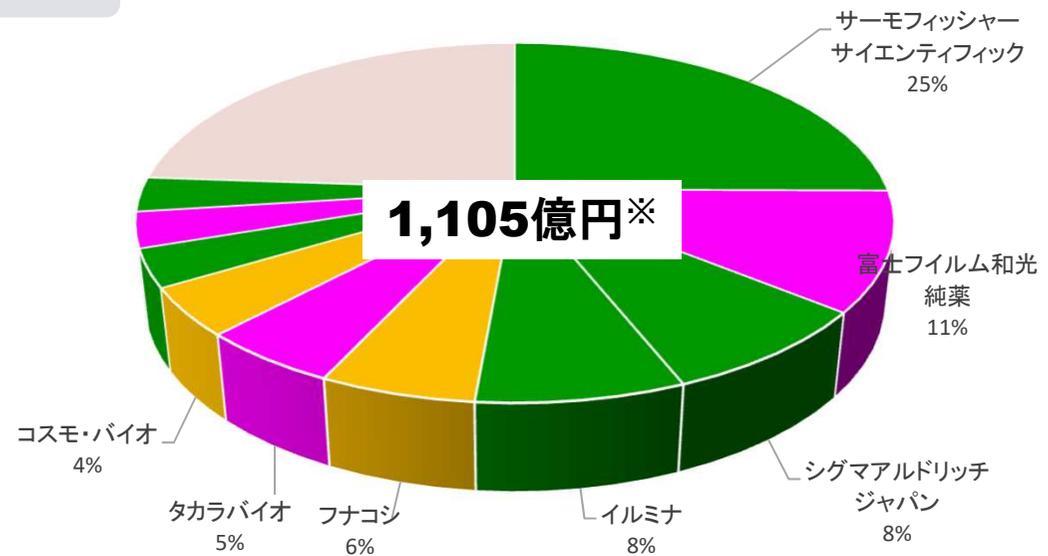
市場の伸び悩みに伴い、シェア獲得のための価格競争は継続。

ライフサイエンス研究用試薬の市場規模

◆競合会社のパターン◆

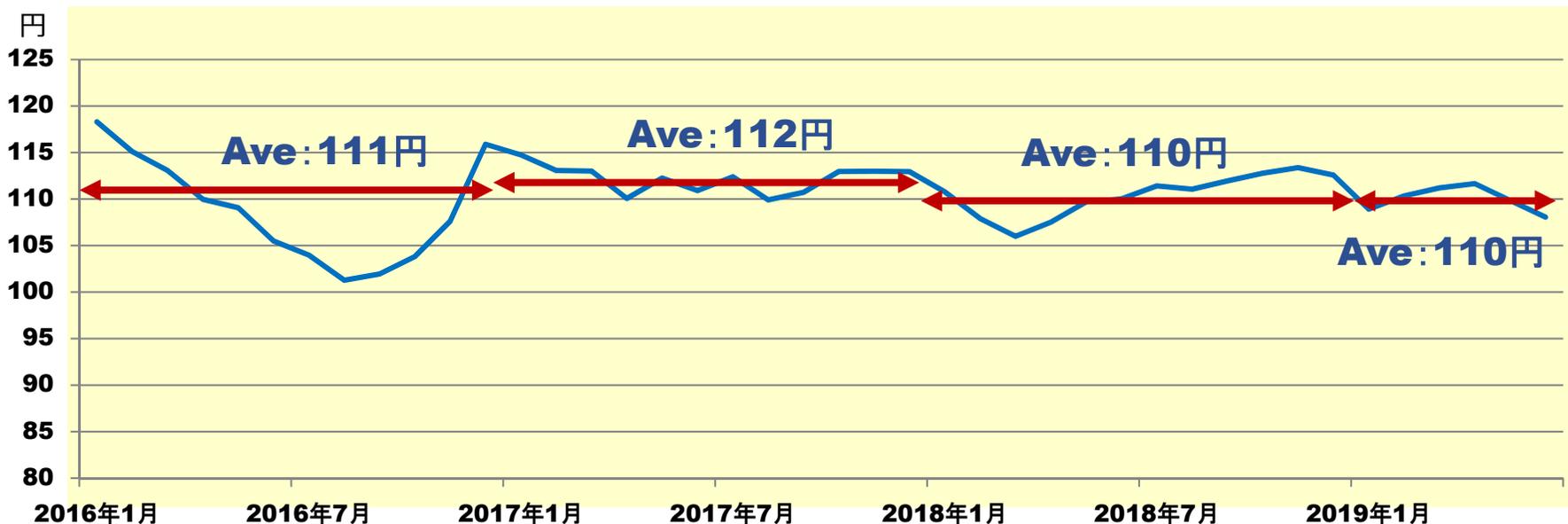
- 1 海外企業の日本法人
- 2 大手企業の子会社・部門
- 3 商社

※矢野経済研究所調べ



2019年事業環境について

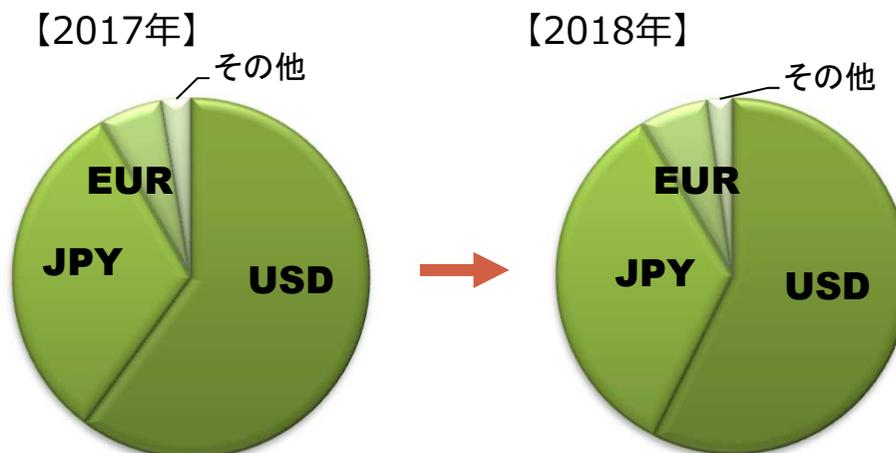
為替相場



- ・ 為替変動により利益に影響
(円安では仕入原価・コスト高)
- ・ 為替予約により為替変動リスクを軽減

平均為替レートの推移 (円/ドル)

2016年	2017年	2018年	2019年 上期
111円	112円	110円	110円



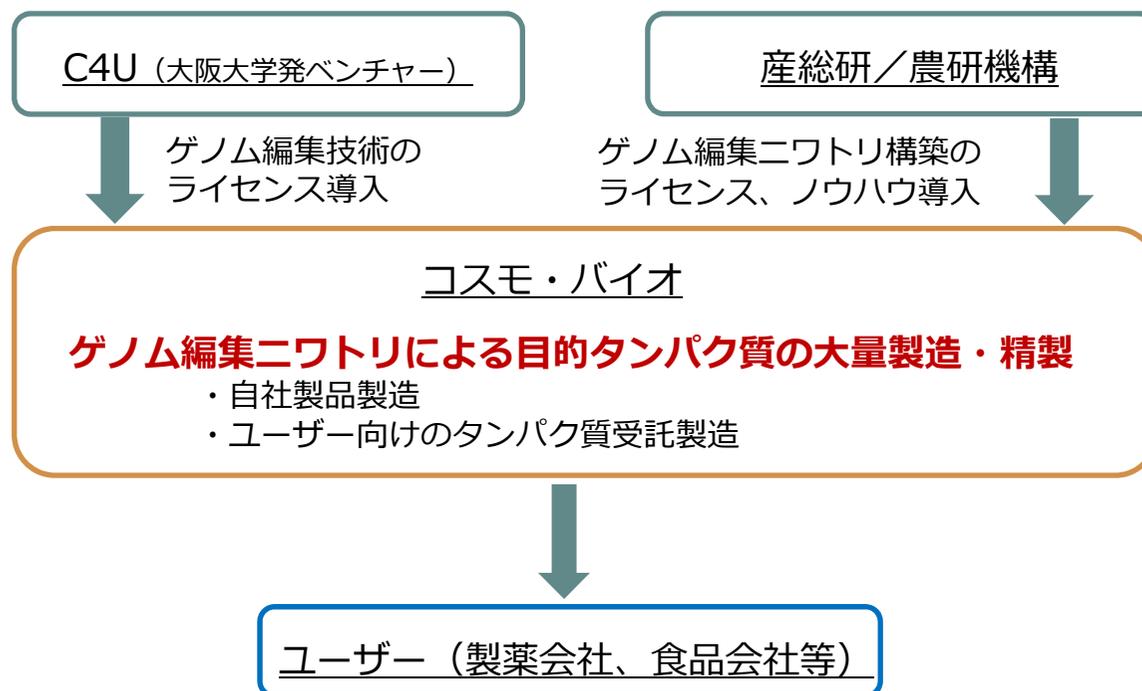
3. 2019年上期の取り組み成果

www.cosmobio.co.jp

鶏卵事業が一步前進

2019年6月

- ✓ インターフェロンβに限定しない特許実施許諾（産総研、農研機構）
- ✓ あらたなゲノム編集技術の導入（C4U）
- ✓ 受託製造サービス事業開始



ユーザーが必要とするタンパク質を安価に大量に製造

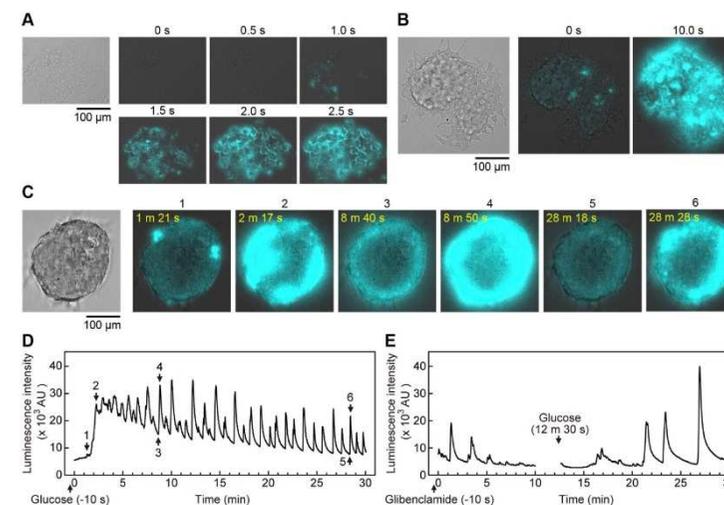
新商品開発

産官学との提携による自社製品

- 1-6月の新製品開発
 - 発光ラット膵β細胞株「iGL細胞」
 - タウタンパク質凝集アッセイキット
 - 新規自社抗体（複数種類）

受託サービスのラインアップ強化

- 1-6月の新サービスラインアップ
 - マルチオミックス受託解析サービス
 - プロテオーム受託解析サービス
 - 次世代シーケンス受託サービス
 - 各種ホルモン測定サービス
 - ヒト生体試料、皮膚組織モデルを用いた試験サービス
 - CHO DG44細胞を用いた組換えタンパク質発現受託サービス
 - タンパク質、有機低分子結晶化サービス
 - タンパク質構造解析サービス 等



iGL細胞におけるインスリン分泌の生物発光イメージング画像

業務効率化・リスク管理

業務効率化

- オフィス改装と同時に働き方の見直しを実施
(2018年4月からプロジェクトを立ち上げ、2019年5月より新オフィスでの業務を開始)
 - グループ3社が同一オフィスで業務を行うことによる交流・シナジー促進
 - オフィス内にコラボエリアを充実させ、「ちょっと打ち合わせ」を気軽にできる空間に
 - モバイルPC、内線スマートフォンを全員に導入し、自席以外でも仕事ができるIT環境を整備
 - 省空間による事務所経費の圧縮
 - 従業員の健康に配慮した昇降デスク、高機能イスの導入



オフィス 執務エリア



オフィス コラボレーションエリア

リスク管理

- 主要なサーバをデータセンターへ移設

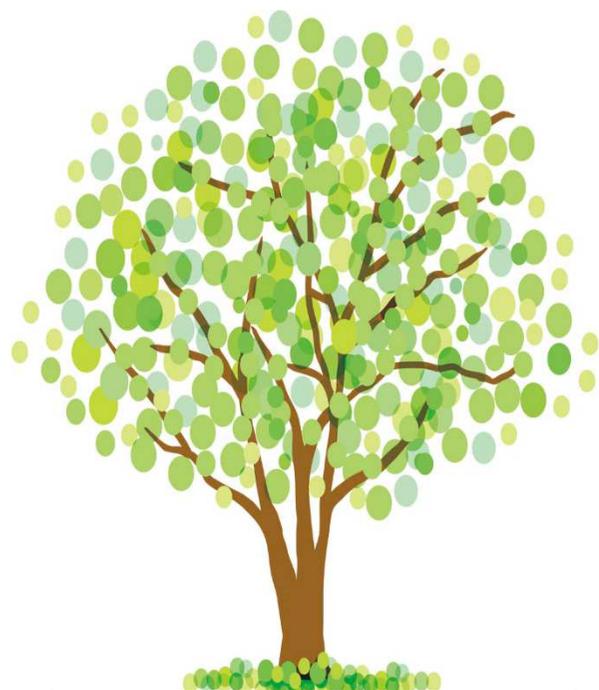
4. 3ヶ年計画の進捗および今後の課題

www.cosmobio.co.jp

2017年からの取り組み（3ヶ年計画）

経営ビジョン

『生命科学の研究者に信頼される事業価値を高める』



既存事業基盤の強化

重要課題

安定した事業の成長と新規の技術で
研究者からの信頼を戴く



新たな事業基盤の創出



企業価値の向上

3ヶ年計画の施策

既存事業

情報力

性能情報提供
法令情報提供
保管輸送管理情報

製品力

特長ある製品・サービス探索
適正在庫・預り在庫
納期短縮

提案力

課題解決型営業
ユーザー密着型営業
代理店への販促企画提案

商社機能

新規事業

自社製品

CAC抗体
初代培養細胞
イクソーム関連製品
ムチン測定キット . . .

自社サービス

ペプタン作製受託
抗体作製受託
腸内フローラ解析受託
涙液分析受託
遺伝子強制発現株作製
その他の測定受託

メーカー機能

企業価値を高め
事業の成長と収益の安定化を目指す

3ヶ年計画の施策

既存事業基盤の強化		新規事業の創出	
商社機能	メーカー機能	創出	提携
情報力 性能情報提供 法令情報提供 保管輸送管理情報 製品力 特長ある製品・サービス探索 適正在庫・預り在庫 納期短縮 提案力 課題解決型営業 ユーザー密着型営業 代理店への販促企画提案 流通改革への対応	自社製品 CAC抗体 初代培養細胞 エクソーム関連製品 ムチン測定キット 自社サービス ペプチド作製受託 抗体作製受託 腸内フローラ解析受託 涙液分析受託 遺伝子強制発現株作製 その他の測定受託 産学官連携への積極参画 (プロジェクト・インサイダー)	ペプチド事業 受託合成・抗体作製⇒研究用抗体 受託合成⇒がんプレジジョンプロジェクト (中村祐輔センター長) AQUAペプチド⇒安定同位体標識 エクソーム事業 リックキッド・バイオプシー診断へ 特異抗体⇒エクソーム研究用抗体 ELISAキット⇒エクソーム検出定量 ミルク・エクソーム標品⇒陽性対照 FCS⇒エクソーム検出定量装置 鶏卵タンパク事業 ゲノム改変鶏作製 研究用試薬製造⇒IFN-β 細胞培養サプリメント 抗体医薬 無アレルギー鶏卵⇒アレルギー治療 標的蛋白生産ゲノム改変鶏作製受託	(株)プロテインテック・ジャパン (株)Proteomedix Frontiers (東北 大発ベンチャー) ファイメクス(株)(武田発ベン チャー) 自社開発の範囲を知り、他社と 提携してでも進むべき進路を定 める CRO 診断薬 医薬品原体 コスメティクス 健康食品 食品製造
企業価値向上			
業務効率化	人事評価	リスク管理	CSR
札幌事業統合(事業所開設) CB/BM業務提携強化 (オフィスの統合)	新規評価制度導入 年功序列的評価部分を廃止、 会社目標と従業員目標の管理か ら従業員の成長戦略へ繋げる	月次リスク管理タスクミーティング 安否確認訓練 閉塞した事業から如何に脱皮するか	「Science」との共同事業 iGEM協賛 公開講座応援団 社会活動から次世代の啓発

3ヶ年計画の施策

既存事業基盤の強化		新規事業の創出	
商社機能	メーカー機能	創出	提携
情報力 性能情報提供 法令情報提供 保管輸送管理情報 製品力 特長ある製品・サービス探索 適正在庫・預り在庫 納期短縮 提案力 課題解決型営業 ユーザー密着型営業 代理店への販促企画提案 流通改革への対応	自社製品 CAC抗体 初代培養細胞 エクソーム関連製品 ムチン測定キット 自社サービス ペプチド作製受託 抗体作製受託 腸内フローラ解析受託 涙液分析受託 遺伝子強制発現株作製 その他の測定受託 産学官連携への積極参画 (プロジェクト・インサイダー)	ペプチド事業 受託合成・抗体作製⇒研究用抗体 受託合成⇒がんプレジジョンプロジェクト (中村祐輔センター長) AQUAペプチド⇒安定同位体標識 エクソソーム事業 リッキッド・バイオプシー診断へ 特異抗体⇒エクソソーム研究用抗体 ELISAキット⇒エクソソーム検出定量 ミルク・エクソソーム標品⇒陽性対照 FCS⇒エクソソーム検出定量装置 鶏卵タンパク事業 ゲノム改変鶏作製 研究用試薬製造⇒IFN-β 細胞培養サプリメント 抗体医薬 無アレルギー鶏卵⇒アレルギー治療 標的蛋白生産ゲノム改変鶏作製受託	(株)プロテインテック・ジャパン (株)Proteomedix Frontiers (東北 大発ベンチャー) ファイメクス(株)(武田発ベン チャー) 自社開発の範囲を知り、他社と 提携してでも進むべき進路を定 める CRO 診断薬 医薬品原体 コスメティクス 健康食品 食品製造

企業価値向上

業務効率化	人事評価	リスク管理	CSR
札幌事業統合(事業所開設) CB/BM業務提携強化 (オフィスの統合)	新規評価制度導入 年功序列的評価部分を廃止 会社目標と従業員目標の管理か ら従業員の成長戦略へ繋げる	月次リスク管理タスクミーティング 安否確認訓練 閉塞した事業から如何に脱皮するか	「Science」との共同事業 iGEM協賛 公開講座応援団 社会活動から次世代の啓発

3ヶ年計画の施策

既存事業基盤の強化		新規事業の創出	
商社機能	メーカー機能	創出	提携
情報力 性能情報提供 法令情報提供 保管輸送管理情報 製品力 特長ある製品・サービス探索 適正在庫・預り在庫 納期短縮 提案力 課題解決型営業 ユーザー密着型営業 代理店への販促企画提案 流通改革への対応	自社製品 CAC抗体 初代培養細胞 エクソーム関連製品 ムチン測定キット 自社サービス ペプチド作製受託 抗体作製受託 腸内フローラ解析受託 涙液分析受託 遺伝子強制発現株作製 その他の測定受託 産学官連携への積極参画 (プロジェクト・インサイダー)	ペプチド事業 受託合成・抗体作製⇒研究用抗体 受託合成⇒がんプレジジョンプロジェクト (中村祐輔センター長) AQUAペプチド⇒安定同位体標識 エクソソーム事業 リッキッド・バイオプシー診断へ 特異抗体⇒エクソソーム研究用抗体 ELISAキット⇒エクソソーム検出定量 ミルク・エクソソーム標品⇒陽性対照 FCS⇒エクソソーム検出定量装置 鶏卵タンパク事業 ゲノム改変鶏作製 研究用試薬製造⇒IFN-β 細胞培養サプリメント 抗体医薬 無アレルギー鶏卵⇒アレルギー治療 標的蛋白生産ゲノム改変鶏作製受託	(株)プロテインテック・ジャパン (株)Proteomedix Frontiers (東北 大発ベンチャー) ファイメクス(株)(武田発ベン チャー) 自社開発の範囲を知り、他社と 提携してでも進むべき進路を定 める CRO 診断薬 医薬品原体 コスメティクス 健康食品 食品製造

企業価値向上

業務効率化	人事評価	リスク管理	CSR
札幌事業統合(事業所開設) CB/BM業務提携強化 (オフィスの統合)	新規評価制度導入 年功序列的評価部分を廃止 会社目標と従業員目標の管理か ら従業員の成長戦略へ繋げる	月次リスク管理タスクミーティング 安否確認訓練 閉塞した事業から如何に脱皮するか	「Science」との共同事業 iGEM協賛 公開講座応援団 社会活動から次世代の啓発

5. 決算の概要および業績予想について

www.cosmobio.co.jp

連結決算対象会社について

① **ビーエム機器株式会社** (2010年より連結開始)



事業内容：ライフサイエンス研究用の機器類、消耗品の輸入および国内販売

コスモ・バイオが研究用試薬を、ビーエム機器が研究用機器・器材・消耗品を扱うことで、試薬と機器両面からの研究サポートを実現

② **COSMO BIO USA, INC.** (2018年より連結)



事業内容：輸出商品の海外市場での販売全般

コスモ・バイオの仕入先（北米）の探索のほか、コスモ・バイオの輸出品、COSMO BIO USA 独自の仕入先商品の全世界向け（日本を除く）販売を行う

連結業績ハイライト

売上高

前年同期比：微減 予想比：微増

- ほぼ計画どおりに進捗
- 通期では計画値の修正なし

利益

前年同期比：増益（営業利益）、減益（経常利益、純利益） 予想比：増益

- 利益性の高い商品・サービスの販売を継続的に注力
- 販管費の節減
- 為替レートが当初予想の115円に対し円高で推移

連結損益計算書

(金額単位:百万円)

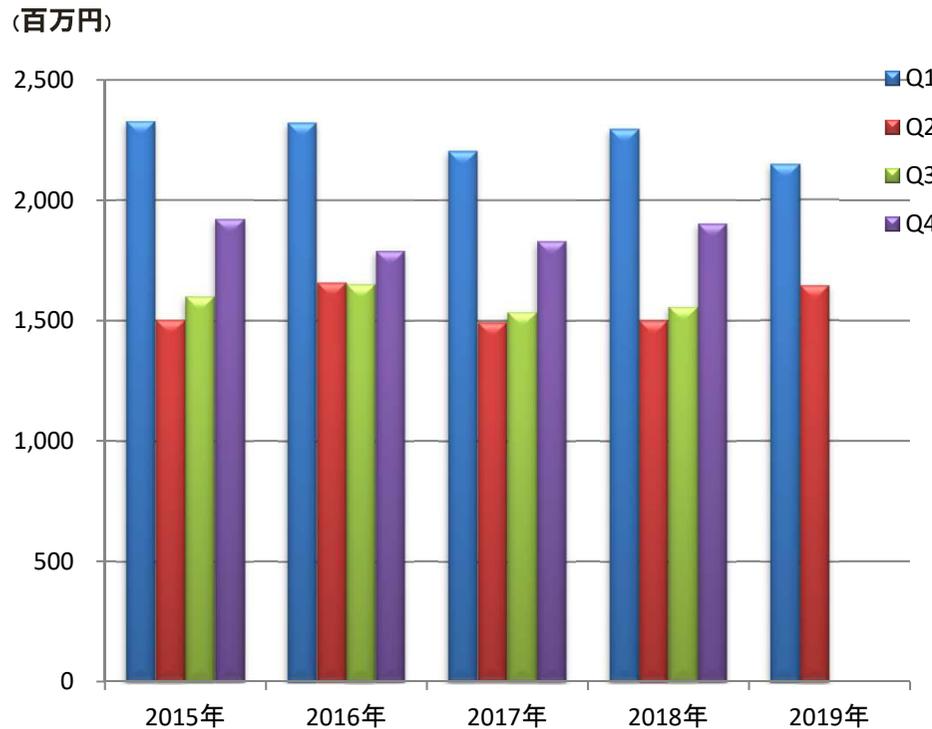
	2018年 第2四半期 累計	2019年 第2四半期累計		前年同期比 増減	当初予想比 増減
		当初予想	実績		
売上高	3,798	3,750	3,794	△0.1%	1.2%
売上総利益	1,389	-	1,461	5.2%	- 注1
販管費	1,156	-	1,220	5.5%	-
営業利益	233	90	241	3.4%	167.8% 注2
経常利益	285	125	269	△5.4%	115.8%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	183	65	179	△2.3%	176.2%

注1 為替は計画115円/ドルに対し、平均110円/ドルと、円高による増益効果。継続的に利益性の高い商品・サービスの販売に注力した結果、36.8%から38.5%へと上昇。

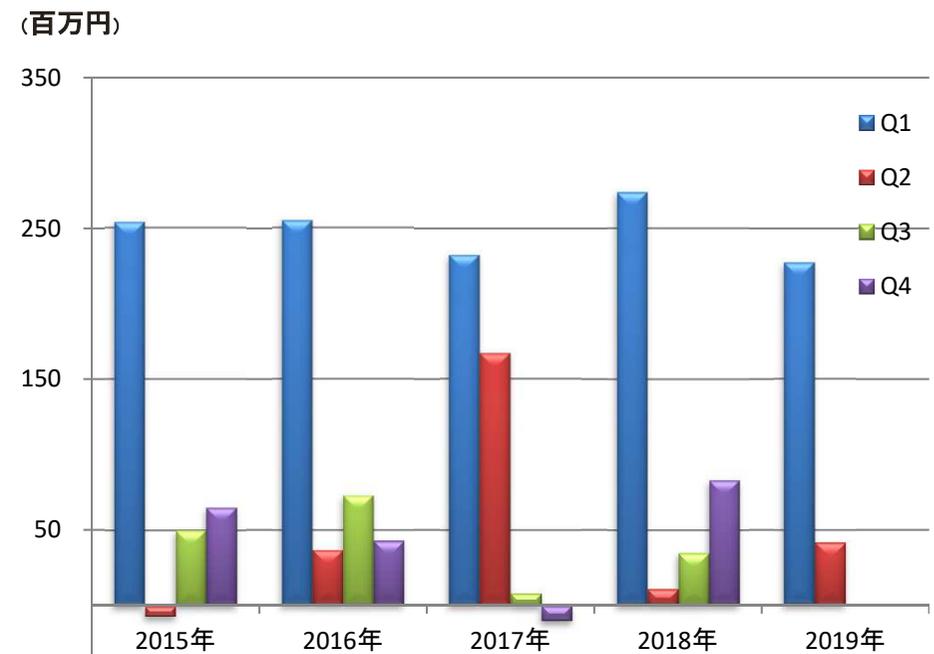
注2 為替効果、利益性の高い商品・サービスの販売増、販管費の節減（対計画）等により、各利益は当初予想を上回った。

四半期別動向（売上高、経常利益）

売上高



経常利益

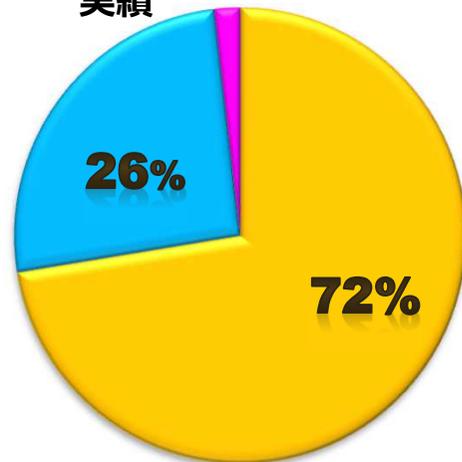


【売上高】従来の四半期別売上高の傾向は、Q1で最も多く、Q2以降階段状に上がってくるパターン。
近年、政府予算の一部繰り越しができるようになり、この傾向も緩やかになっている。

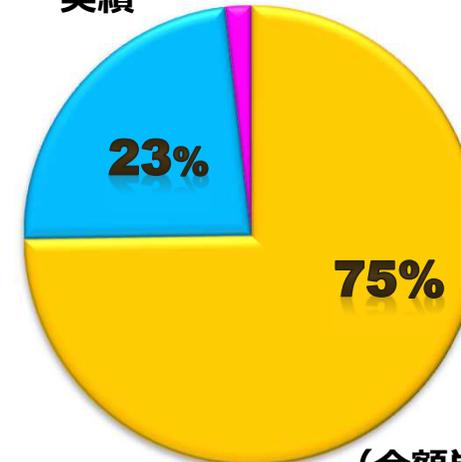
【経常利益】従来の四半期別経常利益の傾向は、Q1で最も利益を稼ぎ出す構造。

商品分類別連結売上高

2018年第2四半期累計
実績



2019年第2四半期累計
実績



(金額単位：百万円)

連結	2018年第2四半期累計実績		2019年第2四半期累計実績		増減額	増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比		
研究用試薬	2,751	72.4%	2,836	74.8%	85	3.1%
機器	978	25.7%	887	23.4%	△90	△9.3%
臨床検査薬	69	1.8%	70	1.9%	0	1.4%
合計	3,798	100.0%	3,794	100.0%	△4	△0.1%

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2018年12月末	2019年6月末	増減額
資産合計	8,485	8,668	182
流動資産計	5,648	5,620	△27
固定資産計	2,837	3,047	209 注
負債純資産合計	8,485	8,668	182
負債計	1,432	1,497	64
純資産計	7,053	7,170	117
自己資本比率	77.5%	77.2%	

注 固定資産の増加：オフィス改装による固定資産取得等

連結キャッシュ・フロー計算書



人と科学のステキな未来へ
コスモ・バイオ株式会社

(単位：百万円)

	2018年 第2四半期累計	2019年 第2四半期累計	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	666	361	△304
投資活動によるキャッシュ・フロー	30	△155	△186
財務活動によるキャッシュ・フロー	△49	△49	0
現金及び現金同等物の増加額	652	154	△498
現金及び現金同等物四半期末残高	2,083	2,222	138

注 前期において、在庫の適正に努めた結果、たな卸資産が減少

2019年12月期の連結業績見通し

※7月23日に業績予想の修正を行いました。

(単位：百万円)

	18/12月期 実績	19/12月期 当初予想	19/12月期 修正予想	対前年比		(参考)
				当初予想	修正予想	19/12期 上期実績
売上高	7,261	7,400	7,400	1.9%	1.9%	3,794
営業利益	328	200	350	△39.1%	6.6%	241
経常利益	403	250	385	△38.1%	△4.3%	269
親会社株主に帰属 する当期純利益	260	140	250	△46.2%	△4.0%	179

平均為替レート	18/12月期 実績	19/12月期 上期予想	19/12月期 下期予想
円/USドル	110円	115円	110円

*19年上期実績 110円

上期の実績を踏まえ、通期業績予想を修正。
為替は、当初115円/ドルで計画していたが、上期累計平均110円/ドルとなり、下期については計画を110円/ドルに見直し。

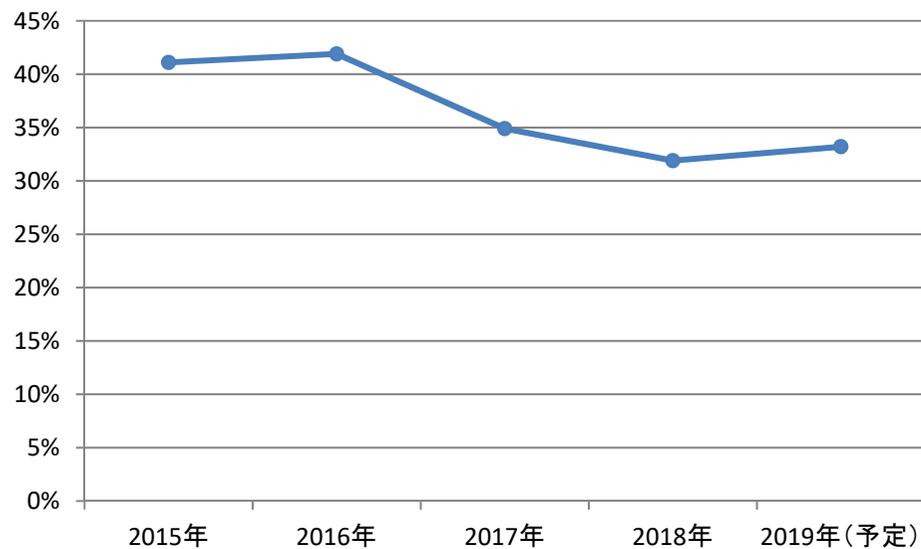
配当について

	1株当たり配当額		
	中間	期末	合計
2019年 12月期	6円	8円 (予定)	14円 (予定)

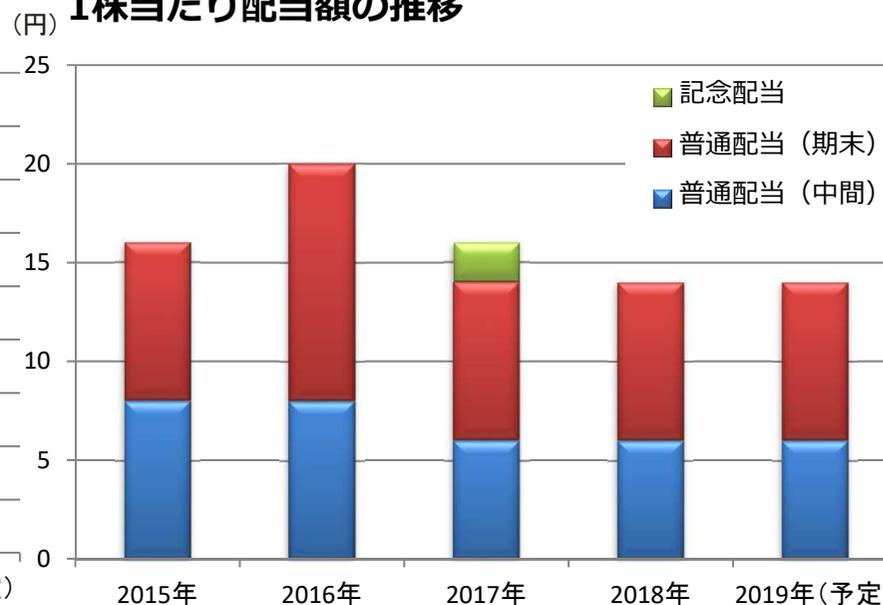
2019年は、2018年と同額を見込んでおります。

業績予想修正により、連結配当性向（予想）は59.3%から33.2%に。

連結配当性向の推移



1株当たり配当額の推移



ご注意

- 本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保障するものではありません。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述部分は、当社が本資料作成時点において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきくださいますようお願いいたします。
- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社株式への投資勧誘を目的としておりません。

《IRに関するお問い合わせ先》
コスモ・バイオ株式会社 総務部
ir-contact@cosmobio.co.jp

当社IRサイト
<http://www.cosmobio.co.jp/ir>

以下、ご参考資料です

主な連結経営指標等の推移

	2014年 平成26年	2015年 平成27年	2016年 平成28年	2017年 平成29年	2018年 平成30年
売上高(百万円)	7,235	7,357	7,427	7,068	7,261
経常利益(百万円)	285	373	483	397	403
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	201	230	254	237	260
純資産額(百万円)	6,532	6,378	6,581	6,838	7,053
総資産額(百万円)	8,161	7,790	7,934	8,126	8,485
1株当たり純資産額(円)	1,020.56	1,003.87	1,034.90	1,076.35	1,110.06
1株当たり当期純利益(円)	34.02	38.89	42.93	40.15	43.93
自己資本利益率(%)	3.3	3.8	4.2	3.8	4.0
総資産経常利益率(%)	3.5	4.7	6.2	5.0	4.9
株価収益率(倍)*	43.9	27.6	29.2	27.9	20.0
配当金額(単体)(円)	20	16	18	14	14
配当性向(連結)(%)	58.8	41.1	41.9	34.9	31.9
純資産配当率(連結)(%)	1.9	1.6	1.8	1.3	1.3

* 株価は12月期の末日終値

－ 試薬とは－

実験・研究・測定のために使われる薬剤

化学物質以外にも、生物の体内から取り出した成分（タンパク質や細胞、核酸等）やそれを反応させるための溶液など、多種類の試薬があります。

なかでも・・・**ライフサイエンス用（生化学用）**は、

- ・生物から抽出したもの、あるいはその物質を合成したもの。
- ・数10マイクログラムなど、目に見えないくらい少量で提供される。
（体内を模した実験をするにあたり、そのくらいの量で充分足りる）



逆にいうと、体の中のこんなに少ない量の成分が何かしらのはたらきをしているということ。

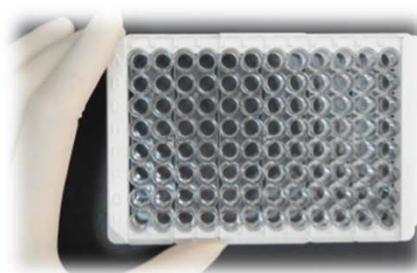
《試薬の分類イメージ》



— 機器・器材・消耗品とは —

実験・研究・測定で使われる

- ・ 測定機器
- ・ 反作用機器
- ・ 手袋
- ・ ピペット
- ・ プレート
- ・ チップ
- ・ . . .



マイクロウェルプレート



チューブ

BIORUPTOR[®] II

 MyRun II
あいみらん [aimiran]



電気泳動装置



超音波破碎装置



取扱商品の一例

試薬



培地、緩衝液など

試薬



キット(試薬セット)

機器



小型実験機器

試薬

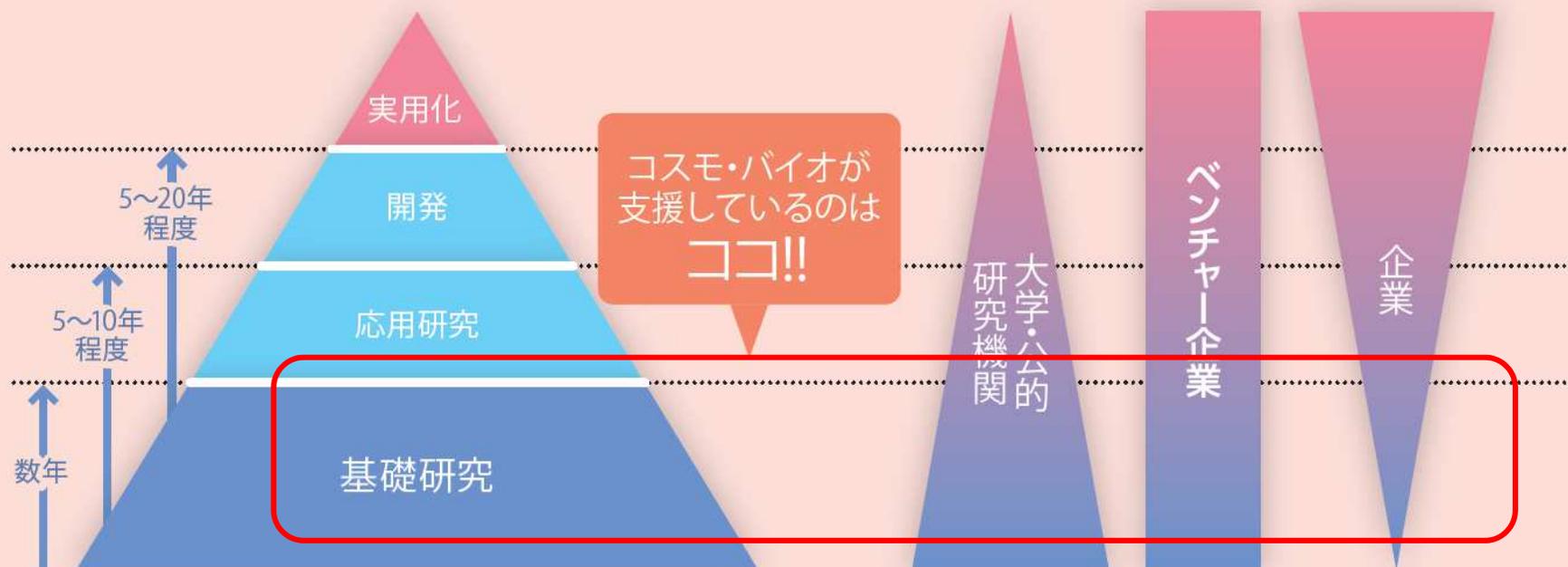


抗体・生理活性物質など

ライフサイエンス研究とユーザー層 -1

➤ 研究ステップ

➤ 各研究ステップの研究機関（ユーザー層）



ライフサイエンスの技術が実用化されるまでには
とても長い年月がかかっています。
コスモ・バイオはその研究の第一歩である、「基礎研究」を行う
研究者向けに、研究用試薬・機器を販売しています。

ライフサイエンス研究とユーザー層 -2

大学

公的研究機関

企業

- 国から提供される
 - 運営交付金
 - 競争的資金(例:文部科学省の科研費)
- などの資金をもとに研究活動を行う。

理化学研究所(文科省)
産業技術総合研究所(経産省)
医薬基盤・健康・栄養研究所(厚労省)
...

製薬会社、食品会社、
化粧品会社、
ベンチャー企業、...

基礎研究を支える科研費予算(文部科学省)



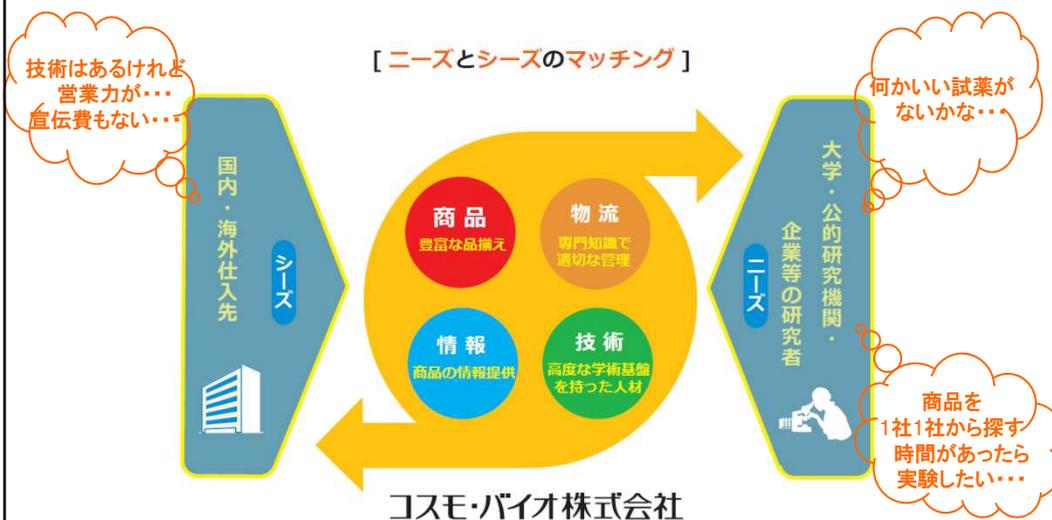
- 各企業の事業計画や開発プランなどに基づき、**基礎研究にどのくらい「投資」**するかの予算が生まれ、その資金をもとに研究活動を行う。



コスモ・バイオの役割

●膨大な商品と多彩なユーザーニーズの「マッチング」

世界のメーカーから仕入れる膨大な商品ラインアップ（＝シーズ）の中から、研究者にとって有用な商品（＝ニーズ）を選び出し、タイムリーにお届けする。商品とユーザーの「マッチング」こそが、最も重要な私たちの役割であり真髄。これを実現させ、商品購入前のお問い合わせから購入後のフォローまで、迅速かつ丁寧に対応。



●適切な温度管理

試薬の多くは、タンパク質や核酸・細胞など、生物由来の物質、いわゆるナマモノであり、仕入から保管、お届けまで厳重な温度管理が必要。各種温度帯を備えた倉庫、入出荷ノウハウにより、適切な温度管理で商品をお届け。

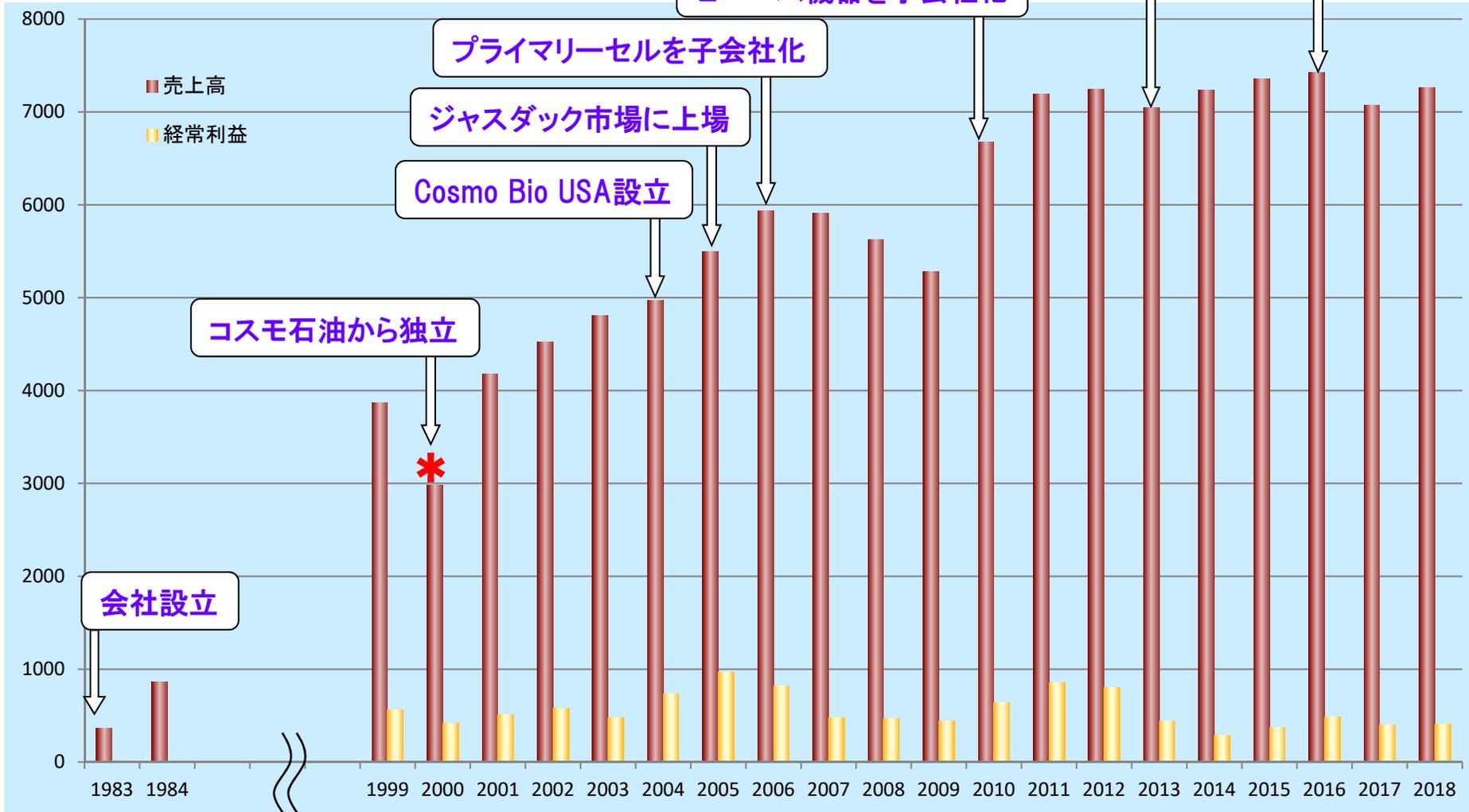


●関係法令・規制

- ◆動物検疫
商品が動物由来、もしくは動物由来の成分を含む場合、輸入・輸出の際には動物検疫対象となる。専門知識により、迅速に対応。
- ◆使用・保管への注意
商品には、毒劇物・薬物・危険物・遺伝子組換え物質等の、法律で取扱いが厳しく定められているもの、有機溶媒など廃棄規制があるものがあり、商品取扱いに関する情報も適切に提供。

参考資料 当社の歩み

(単位:百万円)



* (2000年は4-12月の9ヶ月決算) 連結

『公開講座応援団』

大学等が行う公開講座に協賛し、ライフサイエンスの面白さと楽しさを伝えるお手伝いをしています



『世界一行きたい科学広場in宗像』

【講座の一例】

『消化管 体験ツアー』

食道から大腸まで、子供が潜り抜けられるトンネル構造模型です



『iGEM生物ロボットコンテスト 参加日本チームへの支援』

米国マサチューセッツ工科大学で毎年行われている「生物ロボット」コンテストに参加する日本の大学チームを、資金援助を通して応援しています

『北海道大学』

【参加された
チームの一例】

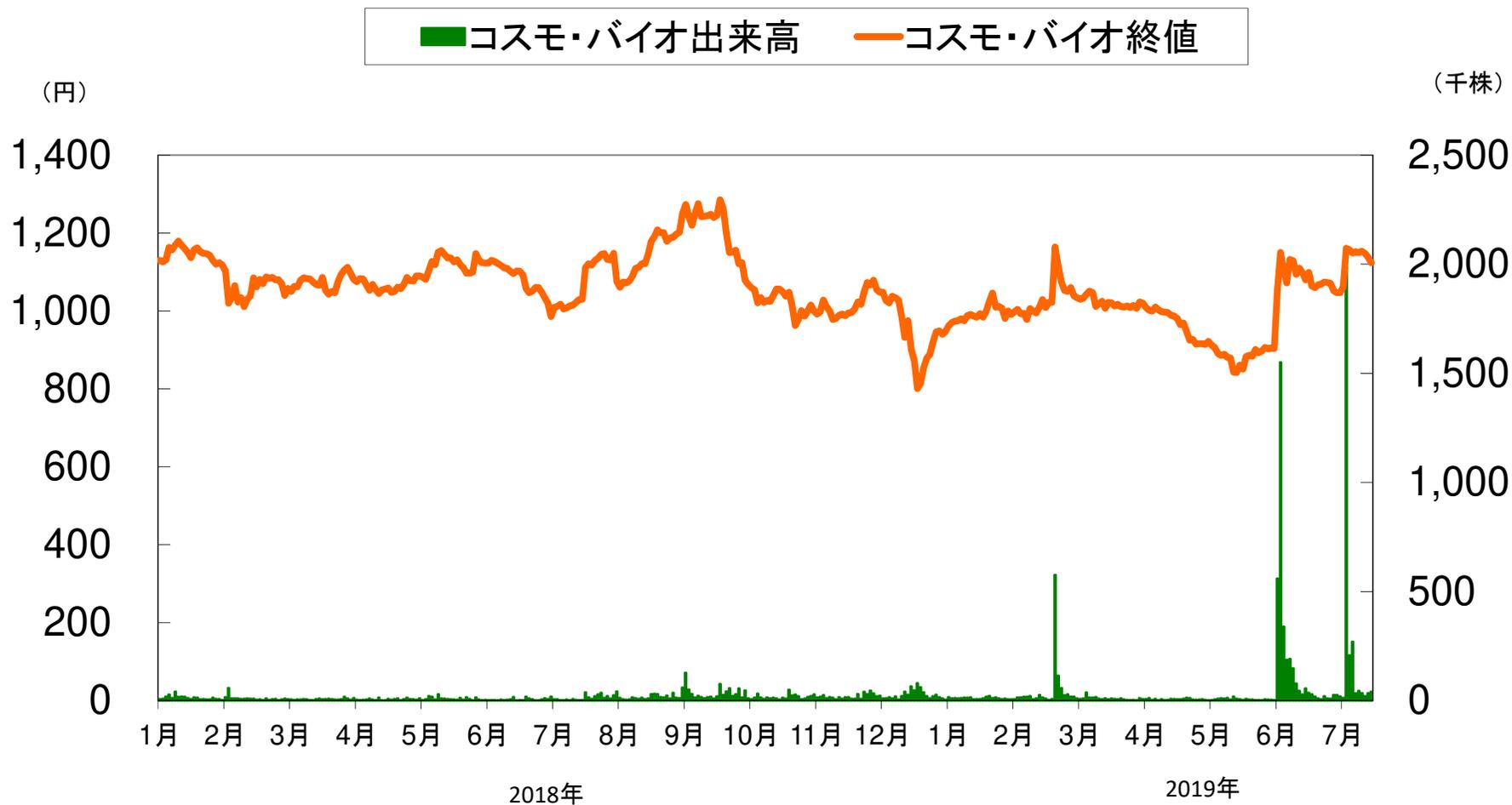


『Science Signaling』

米国科学振興協会が発行する“Science Signaling”の日本語サイトを当社ウェブ上で運営しています



株価推移 (2018/1/4~2019/8/5)



前日 (8月5日) の終値 : 1,124円